

☆いなべ市立大安中学校区の取組

◆事業概要



1 中学校区の現状と課題

大安中学校区には1中学校と4小学校があります。旧来からの三世帯同居の家庭が多くを占めますが、小学校区によっては、その約半数が他地域から転居してきた家庭で構成されています。かつての「地域の子は地域で育てる」といった気運が徐々に弱まり、地域住民のつながりも希薄化しはじめている状況にある校区もあります。住民や保護者については、教育に対する関心が薄いわけではありませんが、子ども達は全体的に家庭学習等に取り組む意欲が低く、中学校区として低学力の傾向にあります。特に、厳しい経済状況の中で生活をしている子ども達や複雑な家庭環境の中で暮らす子ども達の中には、自尊感情や学習意欲が低く、成績や学力に不安を抱え、将来の夢や希望を抱くことができない姿も見られます。

そこで、これまで地域住民が行ってきた農業体験等の学習支援や登下校ボランティア等の取組を整理し、学校に係わりのある団体や地域住民、関係機関等と学校が一体となった効果的な取組を創り出すことにより、子ども達を取り巻く課題を解決していこうと考え、大安中学校区子ども支援ネットワークの構築を図りました。

2 課題解決のための主な取組

(1) 地域住民と協働して創りあげる祭り（小学校）

大安中学校区にあるすべての小学校では、地域住民が積極的に子ども達に係わり、ほめたり、励ましたりすることによって自尊感情や学習意欲を高めることをめざし、学校・家庭・地域が連携・協働して「三里祭（三里小学校）」「里まつり（石榑小学校）」「笠間祭（笠間小学校）」「丹生川っ子祭（丹生川小学校）」に取り組みました。地域住民は、講師として「こま作り」や「しめ縄作り」等の昔ながらの遊びや伝統文化の体験活動を通して子ども達と係わったり、子ども達による体験コーナーや太鼓演奏等の自主的な活動に対して惜しみない拍手を送ったりしていました。これらの活動を通して、子ども達は地域住民とのつながりを深めることができたことはもちろん、達成感や成就感を得ることができました。



しめ縄づくり



「次世代へ伝えたい遊び」コーナー

(2) 読み聞かせ活動（小学校）

すべての小学校において、本の読み聞かせ活動に取り組みました。休み時間だけでなく、様々な学習活動に位置づけて実施しました。

本の読み聞かせ活動を通して、自ら興味や関心の幅を広げていく子ども達の姿がありました。また、本が好きになり、読書の習慣化を図ったり、生活を豊かにしたり、学習意欲を高めたりするきっかけにすることができました。



本の読み聞かせ活動

(3) 保育士体験（中学校）

保育士体験は、中学1年生が自分の成長について振り返り、現在及び将来の自己のあり方、家族や家庭生活について考えることを目的に取り組みました。子ども達は、保育園での体験を通して、自己有用感を高めるとともに、自分の将来についてあらためて考えるきっかけになりました。



保育士体験の様子

◆実践を振り返って

地域住民を中心とした様々な団体や関係機関等が、小学校での読み聞かせや祭りの開催等の活動を通じ、子ども達をほめたり、励ましたりしながら主体的に係わってきました。中学校では、保育士体験をはじめ、行事や部活動等への地域住民による支援を通して、子ども達が自己有用感を高めたり、地域住民から認められたりする場づくりに取り組んできました。これらの活動が、子ども達の自尊感情や学習意欲の向上につながりました。また、子ども達と地域住民のつながりや学校・家庭・地域のつながりをより一層深める機会にもなり、「地域の子は地域で育てる」という気運の高まりにつながりました。

今後も、学校生活に対して不満足だと感じている子ども達や、学習意欲の向上を阻まれている子ども達の課題解決に向け、学校・家庭・地域が連携を深め、一体となった取組を継続していきたいと考えています。